月ぎめ4,900円 1部売り 朝刊180円、夕刊70円　朝日新聞（夕刊）　2025年（令和7年）5月22日（木）　第3種郵便物認可

平和の桜 ポーランドに30年

「国境超え心通わす」と寄贈 3本現存

本土最北端の北海道稚内市よりもさらに北にあるポーランドの女子修道院のそばで4月半ば、日本の桜が薄紅色の花を咲かせた。その桜は、八重桜「紅豊（べにゆたか）」。北海道七飯（ななえ）町の浅利政俊さん（94）が30年以上前に贈ったものだ。桜には、浅利さんの平和への願いが込められている。

小学校教諭だった浅利さんは、寒冷地でも育つように、と桜の品種改良を続けてきた。そんな浅利さんの元に1987年、依頼があった。

「コルベ神父が開いたポーランドの修道院に、あなたの桜を植えたい」

マキシミリアノ・コルベ神父は、アウシュビッツ強制収容所で死刑宣告された人の身代わりになり、殉教した人だ。神父を敬慕する日本人の女性が頼んだのだ。

浅利さんは快諾し、ワルシャワ近郊のニエポカラノフ修道院に300本を超える苗木を送った。さらに、コルベ神父の教えを受け継ぐ長崎県諫早市の「けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会」からも頼まれ、ポーランド南東部ストラホチナの聖マキシミリアノ修道院にも40本を送った。その1本が品種改良で作り出した紅豊だ。

浅利さんが引き受けたのには理由がある。函館市近郊の農家に生まれた。天皇に命を捧げることが「潔く散る桜」にたとえられた時代。「国のために死ぬ、という意識を高める目的に使われた桜を当時は美しいとは思えなかった」

だが、戦後、大学で師事した植物学者の菅原繁蔵氏に桜の標本を渡され、意識が変わった。赴任先の北海道松前町で桜を調べ始めた。寒さ厳しい地でも野生種の大山桜などに交じって、本州から渡り、根付いた八重桜があった。桜の特性を見極め、100種以上を作り出してきた。「桜は国境を超えて愛（め）でられ、人々が心を通わせられる」

そして、第2次世界大戦時の反省から、アジアや欧州の国々に桜を贈り続けてきた。ポーランドに贈ったのも「日本はナチスと同盟を結び、ポーランドを苦しめたことを忘れてはならない」という思いがあるからだ。ただ、長い歳月が過ぎ、桜がどうなったか、わからなくなっていた。

桜の消息がわかったのは2021年秋。浅利さんの活動を取材してきた英国在住のノンフィクション作家の阿部菜穂子（なおこ）さんが現地を訪れ、ストラホチナの桜3本だけが生き残っていたことを突き止めた。葉の標本を受け取った浅利さんが、自分が贈った野生種の千島桜と深山（みやま）桜、そして紅豊と確認。「寒さには強くない紅豊が根付いたのは奇跡だ」と驚いた。

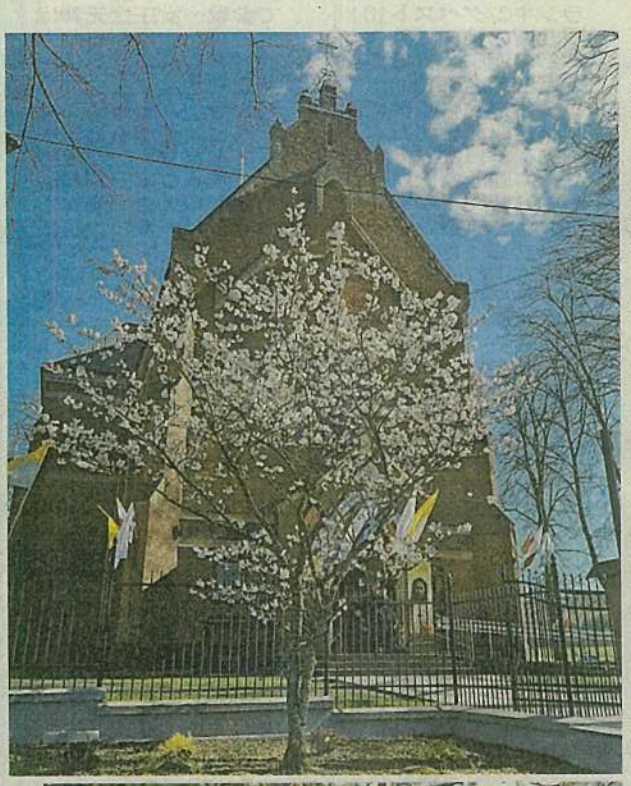
その深山桜の前で昨年4月、修道院のクララ・マフルスカ院長（40）はウクライナからの巡礼団と会った。由来を伝えると、巡礼団は「私たちもこのような平和の木がほしい」と話したという。

隣国ウクライナには、ストラホチナより緯度が高く、より寒冷な地域もある。それでも、浅利さんは「ウクライナに平和が訪れたら贈りたい」。自宅の庭では今年も、厳しい寒さにも耐えるという自作の八重桜「花手毬（はなてまり）」が咲いた。きっと平和の使者としての役目を果たしてくれる。そう願っている。

◇

阿部さんは7月に「アウシュヴィッツの聖人を追いかけて――ある被爆者と桜守の物語」（岩波書店）を刊行する予定だ。

（野田一郎）



ストラホチナの聖マキシミリアノ修道院に隣接する教会で咲いた紅豊＝4月19日、聖母の騎士修道女会提供

桜の原木のつぼみの状態を見る浅利政俊さん＝4月19日、北海道松前町

贈った元教諭「ウクライナにも ぜひ」

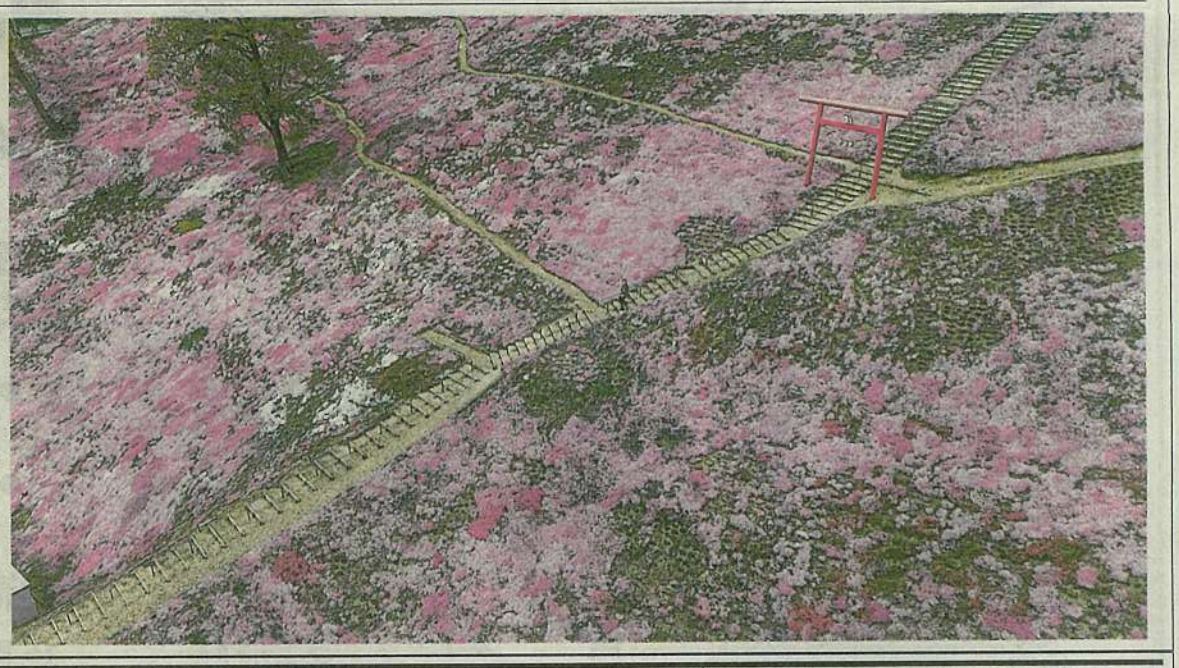
波打つピンクのじゅうたん

北海道東部・大空町にある「ひがしもこと芝桜公園」でシバザクラが見ごろを迎えた。開園前の時間帯にドローンで上空から眺めてみると、鮮やかなピンク色のじゅうたんが、波打つように丘の斜面に広がっていた。

国内最大級の10ヘクタールでシバザクラが咲く。今年の開花は9日で、4月下旬の雪の影響もあり、昨年よりも8日遅れた。今週末がピークになる見通しだ。今月中は楽しめそうだという。

（神村正史）

動画
ドローンで撮影した上空からの様子はこちらから



大阪・関西万博 '25

場内あちこち 変幻自在「こみやく」って？

関係ジュアルで

日本で過去に開かれた万博の公式キャラクターなどになった「こみゃく」たち。1970年大阪万博の「太陽の塔」が真ん中にいる

か。

万博会場のアートや音楽を担当するクリエイティブディレクターの引地耕太さん（42）を難しい言葉ではなく、「ポップなビジュアルで表現した」という。

人気に火がついたのはおよそ1年前。インターネット上で「こみゃく」と呼ばれ始め、SNS投稿が相次いだ。引地さんも、主催する日本国際博覧会協会の職員も次第に

朝日新聞グループ・ライトアップショッピングクラブの通信販売

日常品の洗浄に最適！
メガネ　入れ歯　歯ブラシ　貴金属　シェーバーの刃

眼鏡や入れ歯の汚れ 超音波ですっきり洗浄

気づかない間に汚れが蓄積する眼鏡や部分入れ歯、アクセサリーをきれいに徹底洗浄したい方へおすすめなのが〈シチズン〉の超音波洗浄機。薬剤などを使わず、超音波の波動で発生させた無数の気泡が破裂する際の衝撃波で汚れを粉砕。水だけで驚くほどすっきり洗浄します。一台あればご家族

広告

株式会社ライトアップショッピングクラブは、2024年5月に朝日新聞グループのメンバーになりました。

広告番号：210501
固定電話 0120-110-000
携帯電話 0570-010-391（ナビダイヤル／有料）
【受付時間 9:00～17:30】
▶インターネット https://www.lightup.jp
ライトアップ　検索
▶郵送・FAX 0120-675-808
●郵送・FAXは下記の必要事項をご記入のうえお送りください。

For Earth, For Life
Kubota
25
8日 14:30-16:00
25年大阪・関西万博（ZOOMでライブ配信）
マウィークスタジオからオンライン開催
変動や食の不均衡など世界的な課題が深刻化する来に向けて、地球にも人にもやさしい"プラネタリーャス"な食と農業を実現するために何ができるのか。のいのちが輝き続ける未来のために。「2025年大阪・博」の会場とオンラインでつながり、未来の食と農業、
©Expo 2025
大阪・関西万博 公式キャラクター ミャクミャク